

全国防草ブロック工業会

茨城県で支部設立

全国防草ブロック工業会の6番目の地域支部となる茨城県防草ブロック工業会が設立され、5月28日に水戸市内で第1回総会が開かれた。小河原隆次氏(小河原セメント工業)が会長に就き、官庁へのPR活動を柱とする。

小河原会長は「防草ブロックは、繰り返しの対策工事が不要で、維持管理、社会に大きな経済効果がある。多くの有識者から評価を得ている環境製品で、会員の皆さまと協力して広めていきたい」とあいさつした。

総会後の研修会では、防草技術の仕組みや実証研究成果などを石川重規氏が解説し、「植物の成長メカニズム「屈性」

を利用することで、雑草が自ら成長を抑制する技術。従来製品で必要だった人、時間、予算が不要となる」と話した。

態と対策の研究も日本の空家・管理不全マンションを考える示唆(寺尾仁(新潟大学准教授)他)

▽韓国ソウルの考試村(コシチョン)の成立過程と居住機能分化に関する基礎的研究(考試院の分布と考試村での生活パターンを中心として)山中新太郎(日本大学准教授)他

▽原発被災地域の大量空きストックの活用に向けた実践的研究(人口激減と居住概念の変化に対応する新マネジメント方法の構築)黒本剛史(鹿島)

【博士論文賞】
▽既存集合住宅の改修に対応したインフィル設計手法に関する実験的研究(土井脩史(京都橋大学専任講師))

▽中国天津における租界の開発に関する研究(英租界を中心に)劉一辰(豊橋技術科学大学大学院助教)

住総研 「研究・実践選奨」博士論文賞 表彰式・講演会を開催

住総研は6月29日、都内で2018年度の「研究・実践選奨」博士論文賞・実践選奨」博士論文賞・実践選奨」博士論文賞

受賞者は次の通り(敬称略)。

【研究・実践選奨】
▽マイクロジオデータを用いた家賃形成メカニズムの研究(住まい手からみた住宅の価値と市場価値の乖離(かいら)に着目して)秋山祐樹(東京大学空間情報科学研究センター助教)他

▽鉄筋コンクリート骨組における座屈拘束筋違の接合部挙動および制振効果に関する研究(毎田悠承(国立研究開発法人建築研究所構造研究グループ研究員))

▽中国天津における租界の開発に関する研究(英租界を中心に)劉一辰(豊橋技術科学大学大学院助教)

▽原発被災地域の大量空きストックの活用に向けた実践的研究(人口激減と居住概念の変化に対応する新マネジメント方法の構築)黒本剛史(鹿島)

総会

●日本設備設計事務所協会連合会

日本設備設計事務所協会連合会は6月28日に定時総会を開き、あいさつに立った西田能行会長(写真)は、建築3会が建築士資格制度の改正について自由民主党建築設計議員連盟に提案したことに触れ「建築設備士についても時代に合った仕組みを整えていかなければならない」と強調した。

6月27日には公明党との勉強会である「設備設計懇話会」を初開催。建築3会との関係を強化し、建築業界の課題解決に向けて共に取り組むよう要望を受けたという。

また「省エネ、創エネは当会の社会的な地位を獲得する千載一遇のチャンス」との考えから、国庫補助事業として同会が設置した「建築物省エネアシストセンター」で建築物省エネ法に関わる各種相談を受け付ける。2018年度には、相談や回答の内容をより迅速にホームページに掲載し、同法の周知を徹底していく。



住総研は6月29日、都内で2018年度の「研究・実践選奨」博士論文賞・実践選奨」博士論文賞

●日本ロジスティクスシステム協会

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)は6月29日に定時総会を開き、任期満了に伴う役員改選で遠藤信博会長(写真)を再任した。

2018年度の重点課題として、▷ロジスティクスイノベーションの推進▷グローバルロジスティクスの進展▷人的資源管理(HRM)の高度化▷環境課題への取り組み▷ロジスティクス総合調査とロジスティクス新コンセプト提

言の準備の5点を提示。これらの課題解決に向け、遠藤会長は「社会情勢や市場が不安定な時こそ、スピードが大きな価値を生む」と語り、刻々と変化する社会環境への対応を呼び掛けた。



住総研は6月29日、都内で2018年度の「研究・実践選奨」博士論文賞・実践選奨」博士論文賞



▽中国天津における租界の開発に関する研究(英租界を中心に)劉一辰(豊橋技術科学大学大学院助教)



▽中国天津における租界の開発に関する研究(英租界を中心に)劉一辰(豊橋技術科学大学大学院助教)

▽中国天津における租界の開発に関する研究(英租界を中心に)劉一辰(豊橋技術科学大学大学院助教)

都建設局が新技術説明会・展示会を開催

東京都建設局は6月29日、都庁内で「2018年度建設局新技術説明会・展示会」を開いた。建設局の新技術データベースに登録した事業者が技術を紹介した他、展示ブースでは参加した東京都や市区町村の自治体職員、民間事業者が実

際、都庁内で「2018年度建設局新技術説明会・展示会」を開いた。建設局の新技術データベースに登録した事業者が技術を紹介した他、展示ブースでは参加した東京都や市区町村の自治体職員、民間事業者が実

日本溶接協会(栗飯原周一)は、溶接・接合技術の発展と活性化を図り、次世代を担う研究者の研究活動を支援するため、研究テーマを募集している。採択されれば100万円の助成を受けられ、応募締め切りは8月31日

日本溶接協会(栗飯原周一)は、溶接・接合技術の発展と活性化を図り、次世代を担う研究者の研究活動を支援するため、研究テーマを募集している。採択されれば100万円の助成を受けられ、応募締め切りは8月31日